



国立病院機構
南九州病院

地域がん診療病院 日本医療機能評価機構認定病院

【院是】『病む人に学ぶ』
患者さんとともに、安全で良質な、
理想の医療の実現を目指します。

URL <https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>

発行：独立行政法人 国立病院機構 南九州病院 Vol.40

2025 秋号

VOL.40

国立病院機構理念

国民一人ひとりの健康と、我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。



南九

MINAMI KYUSHU HOSPITAL

巻頭

2025年度
医師紹介

たより

Nankyu
EVOLUTION
2025



Contents

NANKYU TOPIC 1 循環器内科
心筋シンチ、何でもできます! 4

NANKYU TOPIC 2 研究検査科
時代のニーズと共に発展を遂げる臨床検査 4

NANKYU TOPIC 3 糖尿病内科
進歩する糖尿病治療 5

NANKYU TOPIC 4 療育指導室
病院の中の福祉サービス 5

NANKYU TOPIC 5 看護部
“地域の仲間”として育つフレッシュナース!! 6

NANKYU TOPIC 6 地域連携・患者支援センター
南九州病院が担う地域医療連携の深化に向けて 7

NANKYU TOPIC 7 呼吸器外科
低侵襲肺癌手術への取り組み 8



NHO 南九州病院

幹部

■ 院長 (脳神経内科) | 園田 至人

医学博士・認定内科専門医・専門医(日本神経学会)

■ 副院長 (緩和ケア科) | 東元 一晃

医学博士・日本呼吸器学会・専門医/指導医
日本内科学会・総合内科専門医・日本アレルギー学会・専門医/指導医
日本感染症学会インフェクションコントロールドクター

■ 統括診療部長 (循環器内科) | 池田 義之

日本動脈硬化専門医・日本内科学会総合内科専門医
日本抗加齢医学会専門医・日本心臓リハビリテーション学会指導医
日本循環器学会専門医・日本内科学会認定内科医・博士(医学)

■ 臨床検査部長 (呼吸器外科) | 吉本健太郎

呼吸器外科専門医・博士(医学)
気管支鏡専門医・外科認定医・外科専門医

脳神経内科

■ 医長 | 延原 康幸

日本内科学会認定内科医・博士(医学)
日本神経学会指導医・日本神経学会専門医

■ 医師 | 小田健太郎

神経内科専門医・認定内科医

■ 医師 | 今田美南子

■ 医師 | 徳田 真

■ 医師 | 尾ノ上祐大

■ 医師 | 大藪 祐輝

呼吸器内科

■ 部長 | 是枝 快房

日本内科学会総合内科専門医・日本呼吸器学会呼吸器専門医

■ 医長 | 渡辺 正樹

日本呼吸器学会呼吸器指導医・日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本内科学会認定内科医・日本内科学会総合内科専門医・博士(医学)

■ 医長 | 眞田 宏樹

日本呼吸器学会専門医・日本呼吸器学会指導医
日本内科学会総合内科専門医・日本内科学会認定内科医・博士(医学)

■ 医師 | 岩永 梓

日本内科学会総合内科専門医・日本内科学会内科認定医

■ 医師 | 大庭 優士

内科専門医

■ 医師 | 米 未紀子

■ 医師 | 瀨田美奈子

日本内科学会認定内科医・日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医・医学博士

呼吸器外科

■ 部長 | 本岡 大和

気管支鏡専門医・医学博士・呼吸器外科専門医・外科専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医
肺がんCT検診認定医師・胸腔鏡安全技術認定制度(S240061)

■ 医師 | 村本 太郎

■ 医師 | 久保田伊知郎

外科専門医・呼吸器外科専門医・気管支鏡専門医・気管支鏡指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
肺がんCT検診認定医機構肺がんCT検診認定医
日本がん治療認定医機構暫定教育医
認定医(日本外科学会)・医学博士



2025年度医師紹介

小児科

■ 部長 | 四俣 一幸

日本小児科学会認定医・日本小児科学会専門医

■ 医 長 | 米衛 ちひろ

てんかん専門医、小児科専門医

■ 医 師 | 橋口 瑞葵

小児科専門医

■ 医 長 | 岡本 真道

博士(医学)・日本小児科学会専門医

■ 医 師 | 岩崎 もも

■ 医 師 | 下村 育史

循環器内科

■ 医 長 | 川島 吉博

■ 医 師 | 別府 理沙

放射線科

■ 部 長 | 米倉 隆治

PET核医学認定医・放射線科専門医・日医認定産業医

■ 医 長 | 篠原 哲也

日本医学放射線学会放射線診断専門医

■ 医 長 | 大熊 一彰

放射線診断専門医

■ 高精度放射線
治療センター長 | 高江渕 伸

日本医学放射線学会放射線治療専門医
日本医学放射線学会放射線科専門医

消化器内科

■ 部 長 | 前田 拓郎

日本内科学会認定内科医・博士(医学)
日本消化器病学会指導医・日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化器病学会専門医

■ 医 師 | 竹内 彰教

日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会消化器病専門医

研究検査科

■ 部 長 | 脇本 譲二

細胞診専門医・認定病理医

糖尿病内科

■ 医 長 | 久保 智

内分泌代謝科専門医・日本糖尿病学会専門医
総合内科専門医、認定内科医

麻酔科

■ 医 師 | 川村 和徳

日本麻酔科学会麻酔科専門医・博士(医学)



新任
医師

■ 呼吸器内科 医師
大庭 優士

着任日:2025/7/1
前任地:いまきいれ総合病院
趣味:ドライブ・サッカー
ひとこと:
7月より赴任しました。初めて赴任する地域で不慣れな点もございますが、始良地区ははじめとした周辺の地域の方々のため精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

■ 呼吸器内科 医師
米 未紀子

着任日:2025/7/1
前任地:南風病院
趣味:弓道
ひとこと:
本年度7月より赴任しました呼吸器内科の米未紀子と申します。まだまだいたらぬ点も多いと思いますが、少しでも貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

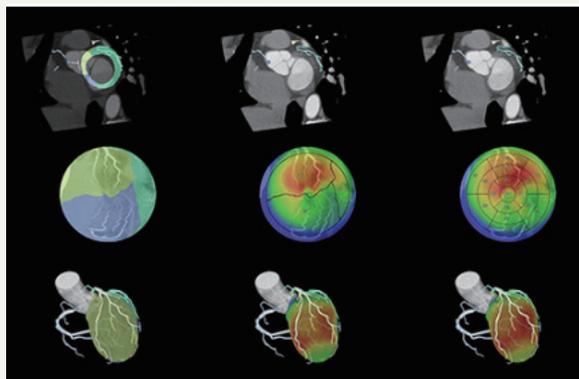
■ 小児科 医師
下村 育史

着任日:2025/8/1
前任地:鹿児島大学病院
趣味:バスケットボール
ひとこと:
小児神経/心理分野を診療・勉強して医師10年目の節目です。学ぶことが多い時間ですので何卒ご指導の程よろしくお願ひ致します。

心筋シンチ、何でもできます！

1) タリウム心筋シンチおよび320列CTによる冠動脈疾患診療

当科では心不全、虚血性心臓病、心筋症、末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症）、不整脈など、幅広く循環器診療を行っています。近年の超高齢化社会に伴う心不全症例増加（いわゆる“心不全パンデミック”）に対応するためには心不全の原因となる冠動脈疾患（虚血性心臓病）や心臓弁膜症等を診断・治療していくことが必須です。当科では心臓超音波検査や心電図、冠動脈造影CT、タリウム心筋シンチ等の検査が可能ですが、とりわけ冠動脈造影CTは320列CTへバージョンアップしており詳細な評価が可能です。



2) Tcピロリン酸心筋シンチによる心筋アミロイドーシス診療

心アミロイドーシスは代謝異常を背景に心筋障害を呈し心不全へと発展する二次性心筋症の一つです。アミロイドーシスは「異常蛋白質のアミロイドが全身の様々な臓器に沈着し、機能障害をおこす病気」の総称で、アミロイドが心筋に集積すると心肥大・拡張不

全を来し極めて難治性の心不全へと発展します。この疾患の診断には、心臓超音波検査・心電図さらにTcピロリン酸心筋シンチ検査が必須です。当院ではこれら全ての検査が施行可能です。

時代のニーズと共に発展を遂げる臨床検査

生化学新規分析装置のご紹介

残暑の厳しさが長引く中、朝夕の風に季節の移ろいを感じる頃となりました。

さて、研究検査科・検体検査室では今年度7月より生化学分析装置に日本電子株式会社のBMシリーズとして展開されているJCA-ZS050（以下、ZS-050）を新しい顔として迎えました。



ZS050は2016年の販売から躍進的にシェア数を広げ、全国で295台（九州：42台、鹿児島県：5台）（2025年7月現在）の装置が活躍しています。そして、国立病院機構ではここ南九州病院が初めての導入となりました。

ZS-050は、現代社会に求められている仕事の効率化に加え、高品質かつ迅速な検査への対応を今以上に発揮し、より正確な検査データを皆様に提供することを可能にしました。

電解質は最大600テスト/時、生化学分析の最大1,200テスト/時と合わせ、最大1,800テスト/時の高速処理により診療前検査、チーム医療推進により拡大する検査業務の効率化を円滑に実施できるものと期待しております。

私たち検査科スタッフは、高性能に進化する分析装置の力を十分に発揮できるよう、技術力・データ分析能力を向上させ、患者様や臨床に携わる方々のニーズに貢献できるよう日々邁進して参ります。



進歩する糖尿病治療

糖尿病と向き合う方を、私達がしっかりサポートします

食事や運動、日々の生活の中でできることから始めて、無理なく続けられる治療と一緒に考えていきます。不安なことや気になることは、いつでも御相談ください。

上記を目標に糖尿病内科の加療をしております。最近では、自己血糖測定器やインスリン治療も進歩しております。リブレ2のように、血糖測定器のセンサーを腕に貼れば、自分のスマホに自動で送信され、2週間に1回の張替えでよくなり、また、基礎インスリンですが、1週間に1回のインスリン注射も出てきました。また、インスリン

ポンプを使うことで、頻回にインスリンの針を刺さなくてもいい器械もあります。

上記については、生活習慣や経済的状况に応じて適宜選択が可能ですので気軽に御相談ください。

糖尿病以外にも当科では、甲状腺疾患や、抗癌剤副作用による下垂体疾患、低ナトリウム血症等の電解質異常についても診察しております。気になる疾患がありましたら気軽にお声かけ下さい。



病院の中の福祉サービス

障害福祉サービス「療養介護」のご紹介

当院は、重症心身障害、医療的ケア児、筋ジストロフィー、神経難病など障害者医療の専門施設であると同時に、小児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした障害福祉サービスを行っています。その一つが、当院で215床を有する「療養介護」サービスです。

療養介護とは、障害者総合支援法で定められる障害福祉サービスの一つで、常時医療と介護を必要とする方に対し、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話をを行います。

主な対象となる方は、①障害支援区分6に該当し、気管切開に伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っている方、②障害支援区分5以上の重症心身障害者又は進行性筋萎縮症患者、③①及び②に準ずるものとして市町村が認めた方です。平成25年からは、指定難病も障害者総合支援法の対象となり、その対象疾病の範囲は年々増えています。

現在、療養介護サービスを提供している神経筋疾患病棟(6.7病棟)、重症心身障害病棟(8.9.10病棟)には、0歳から70代まで幅広い

年齢の方が入所されています。(※1)

医師や看護師だけでなく、保育士や児童指導員、療養介助専門員も在籍し、リハビリスタッ

フや管理栄養士など、多くの専門職が関わりながら、医療的ケアとともに、レクリエーションやリハビリなど、患者さんお一人お一人の希望に沿った活動を提供しています。

趣味の活動として、絵を描かれたり、カラオケをしたり、呼吸器ユーザーの患者さんも、スタッフやご家族と一緒に院外に出て買い物を楽しむこともあります。また、学齢期のお子さんたちは、病院から近隣の加治木特別支援

学校に通ったり、学校の先生に病室に来ていただいたりしながら、授業を受けています。どのような障害をお持ちのかたも、その人が、その人らしく、人生を過ごせるよう、医療と福祉が両輪となって支援していくのが、療養介護病棟の特徴です。



(※1) 18歳未満の場合、医療型障害児入所施設(指定発達支援医療機関)として入所

“地域の仲間”として育つフレッシュナース!!

～始良・霧島地区新人看護師研修をおこなって～

当院では国立病院機構の「職員能力開発プログラムActyナース Ver 2」を基に看護師の主体的な学習を推進、看護師のキャリア形成を支援し看護師の実践能力の向上を図っています。レベル I 研修は新人看護師を対象に年間9回の研修を企画しています。このうち5・6・9月は始良霧島地区の病院に勤務する新人看護師対象の公開講座とし、これまでに7病院延べ44名の方に参加いただきました。

	開催月	内容
第1回	5月	看護技術習得研修(吸引・点滴静脈注射・血糖。インスリン)
第2回	6月	医療安全研修(輸血の基礎・MRI・人工呼吸器)
第3回	9月	フィジカルアセスメント・スキンケア



5月の看護技術習得研修においては、技術習得だけでなく看護技術の原理原則、科学的根拠に基づいた看護技術習得を目標に研修の企画を行いました。プリセプターが指導者となり、デモンストレーションを実施、解剖を踏まえた根拠や倫理的な配慮、コツなどを伝えていきました。院外の新人看護師は技術の経験状況も様々で「すでに点滴を実践で行っている」「経験はしているけれど根拠は知らなかった」などの意見が聞かれていま

ました。また、吸引や点滴など実施中は技術に集中するあまり声掛けがおろそかになってしまい指導者からのコメントにより声掛けの大切さを再認識していました。

6月の医療安全研修の「MRIについて」では実際にMRI室での磁場体験をしてもらい磁気に引き寄せされる強さの体験や検査時に聞こえる音を体験し、検査を受ける患者さんへの看護について学びました。「人工呼吸器の取り扱い」では主任臨床工学技士より講義がありましたが研修生からは人工呼吸器について「経験したことがない」との発言があり、改めて学ぶよい機会となったようでした。

参加した研修生の中には勤務する病院が違っても同じ学校の卒業生同士ということで久しぶりに再会し笑顔で話している風景が見ら

れました。お互いに頑張っている近況を知る機会ともなり、また、日々緊張する看護現場から離れてほっとしつつも改めて学ぶ必要性を実感できる機会となったようでした。

当院では地域の医療機関及び医療機関で働く看護職との交流と連携を目指し新人看護師研修の一部を公開講座としています。多くの施設では業務の多忙さや教育のための人材や設備の確保など新人教育に課題があるのではないかと思います。この公開講座を継続することで始良・霧島地区の人材育成にもつながると考えております。今後もよろしくお願ひします。



南九州病院が担う地域医療連携の深化に向けて

南九リソースナースが在宅療養の支援をスタートしました ～ショットガンプロジェクト～

平素より、当院の地域医療連携に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

独立行政法人国立病院機構 南九州病院 地域医療連携室では、地域包括ケアの要として、急性期から慢性期、在宅移行に至るまで、切れ目のない医療提供体制の構築を目指し、近隣の医療機関・福祉施設の皆様との連携強化に取り組んでおります。

当院は、神経難病(筋萎縮性側索硬化症[ALS]やパーキンソン病等)・重症心身障害・筋疾患などの専門医療を提供する南九州唯一の国立病院として、専門的かつ多職種協働による包括的な医療体制を整えております。

また、在宅復帰支援を見据えたリハビリテーションや緩和ケアにも注力し、患者・ご家族の生活の質(QOL)を高める支援に努めています。

地域連携・患者支援センターでは、主に以下の業務を通じて連携機能を担っております。

気軽にご連絡ください。地域の皆様と共に、持続可能な医療の実現に向けて邁進してまいります。

● 地域医療連携

紹介患者のスムーズな受け入れと診療予約の調整(前方連携)をおこないます。

地域医療機関への逆紹介の推進をおこないます。

地域医療従事者向けの研修会・情報交換会の開催をしていきます。

認定看護師と特定看護師による専門的な訪問看護を開始しております。

● 入退院支援

スムーズな入退院支援を通し、患者支援をおこないます。

● 医療福祉相談

相談対応専門のソーシャルワーカーによる患者支援をおこないます。

● 広報企画

病院広報をおこない、地域へ情報を発信します。

今後、国の医療政策の方向性に即しつつ、地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、当院としてもさらなる機能強化と役割分担を進めてまいります。特に、神経難病・慢性疾患患者の地域生活支援や、医療資源の限られた地域におけるICT・DXの促進にも力を入れ、地域全体での医療提供体制の最適化を目指します。

日々の診療における紹介・逆紹介・退院調整等、連携に関するご相談は、地域連携・患者支援センターまでお気軽にご連絡ください。地域の皆様と共に、持続可能な医療の実現に向けて邁進してまいります。

今後とも、より一層のご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

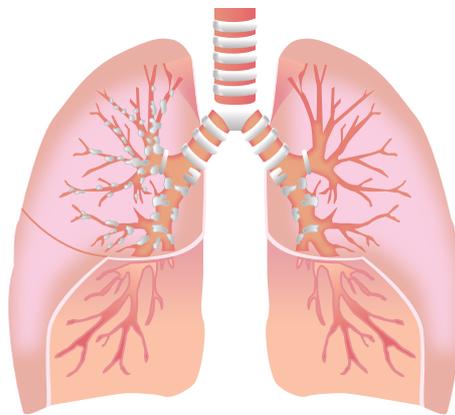


低侵襲肺癌手術への取り組み

肺癌に対する単孔式手術を開始しました

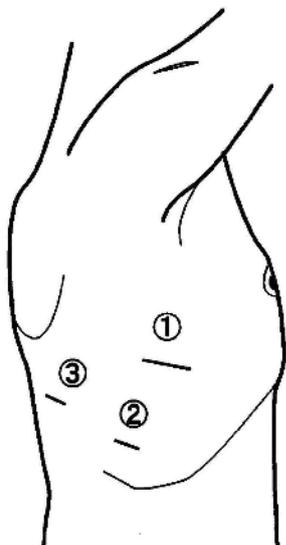
当科ではこれまでも気胸・膿胸につきましては1つの創で手術を行う単孔式手術を行い、患者さんの身体的な負担の軽減を心がけて参りましたが、令和7年2月より肺癌に対する肺葉切除にも単孔式手術を導入致しました。

単孔式手術は従来の多孔式手術と比較して疼痛軽減やより早期の回復が期待できます。当科で手術を受けられる肺癌患者さんは70～80代の方が多く、術後に離床が進まない場合ADLが著明に低下してしまい日常生活に影響が出ることが懸念されますので、こういった患者さんに単孔式手術を行うことはQOL維持に寄与するものと考えます。また、60代以下の患者さんも疼痛が軽減されるため、早期に日常生活に戻ることが期待できます。尚、比較的進行した癌に対してはこれまで通り多孔式手術を行い、根治性を担保しております。



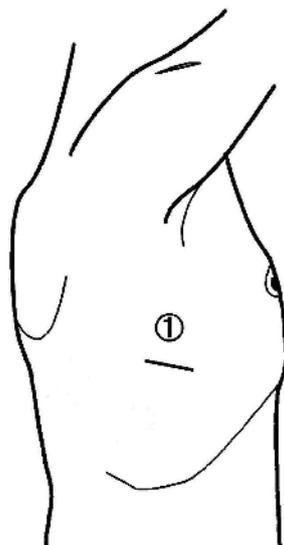
当院では、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科の協議の上、肺癌の検査・治療方針を決定しております。経時的に増大する胸部陰影、消退しない結節影などございましたらお気軽にご相談ください。

多孔式手術



- ①術者用操作孔：8～6cm
- ②カメラポート：2cm
- ③助手用操作孔：2cm

単孔式手術



小開胸創：4cm

南九だより 2025 秋号 Vol.40 2025年9月 発行

発行：独立行政法人国立病院機構 南九州病院 〒899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田 1882 TEL：0995-62-2121・FAX：0995-63-1807
地域連携・患者支援センター(直通) TEL：0995-63-0843・FAX：0995-63-0840 編集発行人：東元 一晃

南九州病院 公式 SNS 日々の取り組みやイベント情報を発信しています。



@nho_m_kyushu



minamikyushu_nho



NHO 南九州病院

公式 LINE も始めました！
外来の休診情報や
院内イベント情報等をお届けしています。

VOL.40 表紙

今年度の新規採用の看護師と先輩看護師です。定期的に集合研修を行っていますが、日々明るく楽しく、スクスクと成長しているところです。



<https://minamikyushu.hosp.go.jp/>